

平成 28 年度第 2 回 CPD 協議会全体会議議事録

日時： 平成 28 年 11 月 30 日(金) 13:00~14:30

場所： 建築会館 ホール

出席者（順不同、敬称略）：14 名、ほかオブザーバ 1 名

広崎膨太郎（協議会会長）、石原直（協議会副会長）、横内貴志男（協議会副会長）、
木村軍司（運営委員）、奥津良之（運営委員）、日比谷啓介（運営委員）、尾崎章（運
営委員）、渡邊誠（運営委員）

会田弘（化学工学会）、石川義信（プレストレストコンクリート工学会）、
田中良彦（代理 半田務 空気調和・衛生工学会）、八坂保弘（電気学会）、
白勢裕次郎（日本物理学会）、田中ひろみ（計測自動制御学会）、
川島一彦（オブザーバ）

議題：

1. 前回議事録確認
2. ホームページの改定について（報告）
3. CPD 関係委員会活動活性化について（審議）
4. 各委員会活動報告
(CPD プログラム委員会、CPD 運用システム検討委員会、ECE プログラム委員会、
広報委員会)
5. その他

配布資料：

- 資料 1 日本工学会 CPD 協議会 会員・委員・役員名簿
資料 2 平成 28 年度第 1 回 CPD 協議会全体会議議事録（案）
資料 3 ホームページの改定について
資料 4 CPD 関係委員会活動活性化について
資料 5 各委員会活動報告

議事：

- 0 会長挨拶、会員・役員・委員名簿の確認
広崎会長より開会挨拶があり、合わせて資料 1 に沿って、現在の CPD 協議会の会員
名簿、役員・委員名簿の確認が行われた。
1. 前回議事録確認

石原副会長より、資料 2 平成 28 年度第 1 回 CPD 協議会全体会議議事録（案）に基づいて前回全体会議議事録が紹介され、確認・承認された。

2. ホームページの改定について

広崎会長より、資料 3 に基づいて、協議会ホームページ表紙ページの内容修正案の説明と意見交換が行われ、本案にアップデートすることが承認された。

また、資料 3 に基づいて、ホームページの冒頭に協議会会長のメッセージ「CPD 活動について」を掲載したことが報告され、承認された。

3. CPD 関係委員会活動の活性化について

広崎会長より資料 4 に基づいて次の様な CPD 関係委員会活動の活性化に向けての提案があり、審議が行われた。

(1) CPD プログラムについて 3 項目、ECE プログラム委員会について 2 項目の役割定義 (SOW) を行う。

(2) CPD 協議会会員の間で情報（特にベストプラクティス）共有を促進することを目的に、全委員に CPD プログラム委員会、または ECE プログラム委員会幹事に会員登録頂き、常時、会議案内と議事録が委員に送付されるようにする。

また、その連携密度の向上を受け、協議会全体会議を年一回とすることが提案された。

審議の結果この提案通り進めることとなり、早速に事務局を經由して委員登録手続き作業などを進めることとなった。

4. 各委員会活動報告

(1) 木村運営委員（CPD プログラム委員会幹事）より、資料「CPD プログラム委員会の報告」に沿って、CPD プログラム委員会あり方議論、CPD ホームページの改善作業、CPD Log Front 活用の検討などの活動報告があった。

(2) 日比谷運営委員（CPD システム検討委員会委員長）より、資料「CPD システム検討委員会活動報告」に沿って、QR コードを用いた CPD 運用システムのフィージビリティ検討経過が報告された。また、広崎会長より、当委員会はミッションを終えて解散するが、QR コード利用については引き続き CPD プログラム委員会で検討していくことが報告された。

(3) 奥津運営委員（ECE プログラム委員会幹事会幹事長）より資料「CPD 協議会 ECE プログラム委員会報告」に沿って、物質・材料基礎 ECE プログラム、SICE プロセス塾 ECE プログラム、IoT 関連 ECE プログラム準備状況、エレキイノベーション人材 ECE プログラム準備状況の報告があった。

(4) 奥津運営委員（広報委員長）より、資料「CPD 協議会広報委員会報告」に沿って、CPD 活動の認知度向上をねらいに、HP の改良、各種機関誌への宣伝原稿、メディア広報活動などの準備活動報告があった。

5. その他・議論

・今 各学会の会員数が減っている。これは大学などアカデミィからの会員はそう変わらないが、企業からの学会会員が減少しているためである。かつては、企業から学会に参加し、新技術情報を得たり、研究議論をしながら他流試合の如くすることが目的で各企業からこぞって学会活動に参加してきた記憶がある。

これからの学会の在り方は、さらに必死に議論する必要があるが、発展的 CPD は産業界と学会あるいは学术界とのパイプ役を果たせる可能性があると思う。

・かつての機械・電気・建築・化学・土木・電子・・・・・・と別れていた学問分野が今や変わろうとしている。例えば IoT, AI, BIG DATA, Robot, Security、数理統計、Smart City, Energy, Transport, 自動車・・・・・・といった新しい学問分類いわば 21 世紀型に変貌しつつある感覚があります。近未来技術者をどう育てなければならぬか、CPD 協議会の課題ではないか。

・社会に向けての発信、ないし広報も進めてほしい。

以上